

報道関係者各位

令和6年度村山地域農林水産業若者賞受賞者の決定及び表彰式の開催

村山総合支庁では、地域の農林水産業の振興発展及び人材育成に資することを目的に、農林水産業分野で活躍する若者の優れた功績や課題解決に向けた地道な取組などを顕彰しています。

この度、下記のとおり令和6年度の受賞者を決定し、表彰式を開催しますので、取材くださるようお願いいたします。

記

1 受賞者

ほそや かつみ
細谷 克己 氏 (山形市、農業)

にしお ゆうき 氏・にしお さおり 氏 (寒河江市、農業)

あおやぎ かずひこ
青柳 和彦 氏 (村山市、農業)

ひがしねかじ ゆけんきゅうかい
東根果樹研究会 (東根市、農業)

2 表彰式の日時等

- (1) 日時 令和7年3月7日(金) 午後2時から
- (2) 場所 村山総合支庁本庁舎 2階 応接室(山形市鉄砲町二丁目19-68)

【参考】「村山地域農林水産業若者賞」の対象者

村山地域で農業、林業及び水産業の振興発展に自主的かつ積極的に寄与している個人又は団体・グループ(法人を含む)で、次に掲げる要件に該当するもの

(1) 個人

県内に居住する18歳以上40歳未満の者で、村山地域に活動拠点を有し、活動期間が概ね3年以上であること

(2) 団体・グループ

村山地域に活動拠点を有し、構成員(法人の場合は役員)の半数以上が県内に居住する18歳以上40歳未満の者からなる団体・グループで、活動期間が概ね3年以上であること

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS



【問合せ先】

村山総合支庁産業経済部地域産業経済課
農産物利用拡大・調整専門員 渡辺 聡

電話 023-621-8356

報道監 総務企画部長 工藤 明子

令和6年度村山地域農林水産業若者賞 受賞者紹介

※ 敬称略。年齢は令和6年4月1日時点。

ほそや かつみ
細谷 克己 (山形市 39歳)

【分野】

農業（花き）

【主な取組内容等】

- 平成22年に就農。「細谷園芸」を経営。
- ラナンキュラス、トルコぎきょう、スモークツリーなどを栽培している。
- 就農当初から花きの優良系統（オリジナル品種）の選抜に取り組み、これまでに200品種以上のオリジナル品種を開発した。
- 主力のラナンキュラスは100%オリジナル品種を栽培しており、オリジナル品種の確立により、安定した価格取引を可能にした。
- 複数の品種・品目を組み合わせ、通年出荷することにより、経営の安定化を図っている。
- 令和元年度に県青年農業士に認定され、山形市青年農業士会、東南村山青年農業士会及び山形県トルコぎきょう研究会の役員を務めるなど、リーダーシップを発揮しながら地域農業の振興に貢献している。

にしお ゆうき にしお さおり
西尾 佑貴・西尾 沙織 (寒河江市 両氏とも39歳)

【分野】

農業（野菜、きのこ）

【主な取組内容等】

- 平成24年に就農。夫婦共同で「お日さま農園」を経営。
- 有機農業で年間約100品目の野菜を栽培しており、常に新しい品種や栽培技術の導入（耕作放棄地の再生のためにひまわりなどの景観作物による緑肥の活用、米ぬかや廃棄される酒粕等を活用した発酵熱による温床育苗、コンパニオンプランツやリビングマルチによる病害虫忌避や相互成長促進等）に取り組んでいる。
- 約120世帯への毎週1回の「季節の野菜セット」の宅配、約40の飲食店へ販売、マルシェなどのイベントへの出店などを行っている。
- これまでに3名の研修生を受け入れ独立を支援したほか、寒河江市新規就農者支援育成協議会が実施する農業体験においても多くの参加者を受け入れるなど、担い手の育成に寄与している。
- 沙織氏は、平成29年度に県青年農業士に認定され、令和5年度からは寒河江市農業士会の副会長を務めるなど、地域での中核を担っている。

あおやぎ かずひこ

青柳 和彦 (村山市 38 歳)

【分野】

農業（水稻、花き、里芋、そば）

【主な取組内容等】

- 平成 23 年に就農。富並青柳農産株式会社 代表取締役（令和 2 年～）
- 規模拡大に応じて令和 2 年 3 月に法人化（富並青柳農産株式会社）するとともに 1 名を雇用。令和 4 年にはライスセンターを整備し、令和 5 年からは更に 1 名を雇用して技術指導にも力を入れている。
- スマート農業（自動操舵アシスト機能付き田植機、ドローンによる追肥）のほか、疎植栽培などにも取り組み、効率化を図りながら規模を拡大している。
- J-クレジットの活用（水稻栽培の中干し期間延長によるメタン排出量の削減）や硫黄被覆肥料の使用など、環境に配慮した農業にも取り組んでいる。
- 平成 27 年度に県青年農業士に認定され、令和 6 年度は山形県青年農業士会副会長を務めるなど、地域において中心的役割を担っている。

ひがしねかじ ゆけんきゅうかい

東根果樹研究会 (東根市)

【分野】

農業（果樹）

【主な取組内容等】

- 当該団体は、果樹経営や農業技術の向上、販売の改善を図り、東根地区における果樹農業振興に寄与すること目的として、昭和 56 年に設立された。
- 近年のさくらんぼの結実不良の増加に着目し、令和 3 年から 5 年にかけて、ポリネーター（花粉媒介者）として利用されているマメコバチの生育環境を整え、効率的に増やすための巣材の選定や巣の設計、繭の取り出し作業の効率化の調査・研究に取り組んだ。
- その結果、巣材としては従来のヨシよりも杉板が産卵率や耐久性の点で優れていることを突き止めるとともに、コンプレッサーを用いて効率的に繭を取り出す手法を開発し、令和 6 年には「ハチマンション」として商品化した。